



平成 17年 3月期 第 1 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 16年 8月 4日

上場会社名 富士急行株式会社

(コード番号:9010 東証第一部)

(URL http://www.fujikyū.co.jp/)

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 堀内 光一郎

問合せ先責任者 役職名 取締役経理部長 氏名 天野 好人 TEL (0555) 22 - 7120

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近連結会計年度からの会計処理方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

・連結(新規) 1社

2. 平成17年 3月第1四半期財務・業績の概況(平成 16年 4月 1日 ~ 平成 16年 6月 30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)表示方法:百万円未満切捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年 3月期第1四半期	9,374	1.9	658	5.3	447	5.2	118	33.2
16年 3月期第1四半期	9,555		695		425		177	
(参考)16年 3月期	43,037		3,702		2,687		858	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
17年 3月期第1四半期	1.12	-
16年 3月期第1四半期	1.66	-
(参考)16年 3月期	7.81	-

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における我が国経済は、企業収益の改善や設備投資の増加など、景気回復の兆しが見られましたが、原油価格の高騰や雇用・年金など先行き不透明感も強く、引き続き厳しい状況下に推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループは積極的な営業活動と経営の効率化に努めました結果、当第1四半期における連結売上高は9億3,740百万円、連結経常利益は4億4,700百万円、連結四半期純利益は1億1,800百万円となりました。

なお、当社グループは「富士急グループ経営理念・経営ビジョン」を策定し、アメニティビジネス(夢・喜び・快適・やすらぎ・感動)のリーディングカンパニーを目指すこととしました。

そこで新たな事業展開としては、レジャー・サービス業において、平成16年6月30日に株式会社ピカの全株式を譲り受けることにより、オートキャンプ場へ進出しました。また、運輸業においては、東京で貸切バス営業を行っている子会社におきまして東京都港区が公募したコミュニティバスの運行を正式に受託したことにより、当社グループでは初めての東京都内での乗合バス事業へ参入し、事業エリアの更なる強化を図ります。両事業とも当社の事業領域であるアメニティビジネスの強化を目的に行うもので、当社経営資源と相互補完することにより当社グループの大きな成長につながるものと考えております。

また、既存事業分野でも、レジャー・サービス業で富士南麓のフジヤマリゾート(旧日本ランド)にある遊園地ぐりんぱ内に「シルバニアファミリー」の夢あふれるテーマパーク「シルバニアレッジ」が7月よりオープンし、富士急ハイランドエリアに次ぐ第二の柱としてリゾート事業の強化を図ってまいります。

セグメント別の営業の概況は次のとおりであります。

運輸業

主力のバス事業では、貸切バスにおいて効率的なセールス活動と受注業務の合理化を図るため、バスセールスセンターを設け5月から運用を開始しました。

乗合バスは引き続き利用者の減少傾向にありますが、不採算路線の改善に取り組んでおります。貸切バスは稼働率が落ちましたが、高速バスは引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、営業収益は4億1,200百万円、営業利益は3億6,000百万円となりました。

不動産業

別荘地販売部門では、首都圏の富裕層をターゲットに営業体制の強化と積極的な販売活動を展開するとともに、ハウスメーカーによる見学会を実施するなど、需要の掘り起こしに努めました。また、賃貸部門は堅調に推移いたしました。

この結果、営業収益は7億49百万円、営業利益は1億87百万円となりました。

レジャー・サービス業

主力の富士急ハイランドでは、「ボブと働くプープーズ」、「超戦慄迷宮リニューアルイベント」、「りかちゃんフェスタ」等の各種イベントを行うとともに、新たに中人料金を設定するなどマーケティングに基づいたきめ細かな営業施策を行いました。

ホテル業では、ホテルハイランドリゾート、ホテルマウント富士ともに婚礼の減少により、宴会部門の減収等がありました。昨年リニューアルオープンした温泉ホテル「熱海シーサイド・スパ&リゾート」は引き続き順調に推移いたしました。

また、フジヤマリゾートの遊園地ぐりんぱは、「シルバニアビレッジ」建設とリニューアルのため、5月から7月のオープンまでの間、休園いたしました。

この結果、営業収益は38億30百万円、営業損益は1億8百万円となりました。

その他の事業

主にバス車両の車載機器の製造販売業において、バス会社での車輛の更新が前年に比し減少した影響を受け、減収となっており、この結果、営業収益は11億13百万円、営業損益は6百万円となりました。

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年 3月期第1 四半期	87,532	11,324	12.9	107.53
16年 3月期第1 四半期	87,473	11,571	13.2	108.16
(参考)16年 3月期	91,294	11,722	12.8	110.91

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年 3月期第1 四半期	1,242	777	4,183	11,044
16年 3月期第1 四半期	1,783	608	2,610	9,703
(参考)16年 3月期	5,527	2,798	894	14,762

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

1. 財政状態の変動状況

当第1四半期における総資産は87億532百万円となり、前連結会計年度末と比較して37億61百万円減少しました。これは、主に借入金の返済により現金及び預金が減少したことによるものです。

また、株主資本は11億324百万円となり、3億97百万円減少しております。

2. キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物は11億44百万円で前期末に比べ37億17百万円減少しております。

営業活動によるキャッシュ・フローは1億242百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは7億77百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得に伴うものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは4億183百万円の支出となりました。主な内訳は、借入金の返済及び利益処分による配当金の支払いによるものです。

3. 平成17年 3月期の連結業績予想（平成 16年 4月 1日 ~ 平成 17年 3月 31日）

平成17年 3月期の連結業績予想及び個別業績予想につきましては、平成16年 5月12日付公表の当初予想に変更はありません。

1. (要約) 四半期連結貸借対照表

資産の部

(単位:百万円未満切捨て、%)

科 目	当四半期 (平成17年 3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年 3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期
			金 額	増 減 率	
(資産の部)					
流 動 資 産	29,860	28,195	1,665	5.9	33,387
現金及び預金	12,457	11,129	1,328	11.9	16,188
受取手形及び売掛金	1,950	2,060	109	5.3	2,162
たな卸資産	14,470	14,045	425	3.0	13,871
その他の	981	960	20	2.1	1,165
固 定 資 産	57,672	59,278	1,605	2.7	57,907
有 形 固 定 資 産	48,949	50,489	1,540	3.1	49,319
建物及び構築物	26,488	26,786	298	1.1	26,906
機械装置及び運搬具	7,545	8,367	822	9.8	7,892
土地	12,749	13,268	519	3.9	12,740
建設仮勘定	809	734	74	10.1	374
その他の	1,357	1,332	25	1.9	1,405
無 形 固 定 資 産	2,949	3,164	214	6.8	2,977
投資その他の資産	5,773	5,624	149	2.7	5,611
投資有価証券	3,213	2,706	507	18.7	3,002
その他の	2,560	2,917	357	12.3	2,608
資産合計	87,532	87,473	59	0.1	91,294

負債、少数株主持分及び資本の部

(単位:百万円未満切捨て、%)

科 目	当四半期 (平成17年 3月期 第1四半期末)	前年同四半期 (平成16年 3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成16年3月期
			金 額	増 減 率	
(負債の部)					
流 動 負 債	28,240	27,318	921	3.4	30,711
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	1,960	1,910	49	2.6	2,522
短 期 借 入 金	16,532	20,509	3,976	19.4	19,307
一 年 以 内 償 還 社 債	5,000	-	5,000	-	5,000
賞 与 引 当 金	176	216	39	18.4	574
そ の 他	4,571	4,682	111	2.4	3,306
固 定 負 債	47,723	48,391	668	1.4	48,610
社 債	-	5,000	5,000	-	-
長 期 借 入 金	41,613	37,296	4,316	11.6	42,515
退 職 給 付 引 当 金	1,347	1,280	67	5.3	1,328
そ の 他	4,762	4,815	53	1.1	4,765
負 債 合 計	75,963	75,710	253	0.3	79,321
(少数株主持分)					
少 数 株 主 持 分	244	191	53	28.2	251
(資本の部)					
資 本 金	9,126	9,126	-	-	9,126
資 本 剰 余 金	3,323	3,398	75	2.2	3,323
利 益 剰 余 金	562	313	248	79.4	994
その他有価証券評価差額金	346	187	158	84.9	260
自 己 株 式	2,034	1,453	580	39.9	1,983
資 本 合 計	11,324	11,571	247	2.1	11,722
負債、少数株主持分 及び資本合計	87,532	87,473	59	0.1	91,294

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て、%)

	当 四 半 期 (平成17年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (平成16年3月期 第1四半期)	増 減		(参考) 平成16年3月期
			金 額	増 減 率	
経 常 損 益 の 部 (営業損益の部)					
営 業 収 益	9,374	9,555	181	1.9	43,037
営 業 費	8,715	8,859	144	1.6	39,335
運 輸 事 業 等 営 業 費 及 び 売 上 原 価	8,454	8,626	172	2.0	38,190
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	261	233	27	12.0	1,145
営 業 利 益	658	695	37	5.3	3,702
(営業外損益の部)					
営 業 外 収 益	130	82	47	57.9	383
営 業 外 費 用	341	352	11	3.2	1,397
経 常 利 益	447	425	21	5.2	2,687
特 別 損 益 の 部					
特 別 利 益	11	21	9	44.3	1,162
固 定 資 産 売 却 益	-	14	14	-	362
補 助 金	7	6	1	24.3	470
工 事 負 担 金 受 入 額	-	-	-	-	256
損 害 賠 償 金 受 入 額	-	-	-	-	72
貸 倒 引 当 金 戻 入 額	4	0	3	474.9	-
特 別 損 失	221	88	133	150.9	2,101
固 定 資 産 売 却 損	-	14	14	-	26
投 資 有 価 証 券 評 価 損	-	-	-	-	41
分 譲 土 地 評 価 損	-	-	-	-	328
固 定 資 産 評 価 損	-	-	-	-	405
投 資 有 価 証 券 評 価 損	-	-	-	-	5
会 計 基 準 変 更 時 差 異 償 却 額	52	55	2	5.4	250
熱 海 ホ テ ル リ ニ ュ ー ア ル 損	-	-	-	-	77
固 定 資 産 圧 縮 損	7	2	4	165.6	432
固 定 資 産 除 却 損	152	7	144	1,838.5	399
そ の 他	9	7	1	22.7	133
税金等調整前四半期<当期>純利益	237	358	120	33.7	1,748
法人税、住民税及び事業税	23	110	86	78.7	921
法人税等調整額	89	64	25	39.3	139
少数株主利益	6	6	0	5.7	170
四半期<当期>純利益	118	177	58	33.2	858

3. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	当 四 半 期 (平成17年3月期 第1四半期)	前 年 同 四 半 期 (平成16年3月期 第1四半期)	(参考) 平成16年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	237	358	1,748
減 価 償 却 費	871	866	3,586
その他の損益等調整額	437	337	2,027
資産・負債の増減額	535	918	143
小 計	2,083	2,481	7,506
利息の支払額等	251	275	1,253
法人税等の支払額	588	422	726
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,242	1,783	5,527
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	857	660	3,508
そ の 他	80	51	710
投資活動によるキャッシュ・フロー	777	608	2,798
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金 増減額	3,677	2,164	1,844
そ の 他	505	446	949
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,183	2,610	894
現金及び現金同等物の増減額	3,717	1,436	3,622
現金及び現金同等物の期首残高			
現金及び現金同等物の期首残高	14,762	11,142	11,142
連結子会社の決算期変更 に伴う期首残高修正額	-	2	2
計	14,762	11,139	11,139
現金及び現金同等物の期末残高	11,044	9,703	14,762

4. セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当四半期連結会計期間（平成16年4月1日～平成16年6月30日）

（単位：百万円未満切捨て）

	運輸業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益及び営業損益							
営業収益							
(1)外部顧客に対する営業収益	4,105	613	3,786	868	9,374	-	9,374
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	14	135	43	244	439	(439)	-
計	4,120	749	3,830	1,113	9,813	(439)	9,374
営業費用	3,759	562	3,721	1,107	9,151	(435)	8,715
営業利益	360	187	108	6	662	(3)	658

前年同四半期連結会計期間（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

	運輸業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益及び営業損益							
営業収益							
(1)外部顧客に対する営業収益	4,245	509	3,738	1,062	9,555	-	9,555
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	9	122	48	217	399	(399)	-
計	4,255	631	3,787	1,280	9,955	(399)	9,555
営業費用	3,869	475	3,686	1,228	9,259	(399)	8,859
営業利益	385	156	100	52	695	(0)	696

前連結会計年度（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	運輸業	不動産業	レジャー・サービス業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
営業収益及び営業損益							
営業収益							
(1)外部顧客に対する営業収益	16,301	2,257	17,967	6,511	43,037	-	43,037
(2)セグメント間の内部営業収益又は振替高	38	510	170	1,499	2,218	(2,218)	-
計	16,340	2,767	18,137	8,010	45,256	(2,218)	43,037
営業費用	15,450	2,098	16,299	7,677	41,526	(2,190)	39,335
営業利益	889	668	1,838	333	3,729	(27)	3,702